

メキシコ債券オープン (資産成長型)

【愛称：アミーゴ】

【運用報告書(全体版)】

(2023年11月23日から2024年5月22日まで)

第 22 期

決算日 2024年5月22日

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2013年8月23日から2027年5月24日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、利息収益の確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 メキシコ債券マザーファンド メキシコペソ建ての債券
当ファンドの運用方法	■メキシコペソ建ての債券を主要投資対象とします。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ■メキシコの国債・政府機関債および国際機関債を中心に投資します。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資は行いません。 ■外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 メキシコ債券マザーファンド ■株式への投資は行いません。 ■外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	■年2回（原則として毎年5月および11月の22日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。
(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、利息収益の確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

メキシコ債券オープン（資産成長型）【愛称：アミーゴ】

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) FTSEメキシコ国債 インデックス (円換算ベース)		公社債 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 分配	込 期騰落 率	騰落 率	騰落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
18期 (2022年5月23日)	11,915	0	14.1	136.55	15.1	96.5	3,532
19期 (2022年11月22日)	13,746	0	15.4	157.20	15.1	94.9	3,417
20期 (2023年5月22日)	15,400	0	12.0	176.90	12.5	96.0	3,542
21期 (2023年11月22日)	17,398	0	13.0	201.45	13.9	95.1	3,802
22期 (2024年5月22日)	19,490	0	12.0	226.74	12.6	90.1	4,046

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) FTSEメキシコ国債 インデックス (円換算ベース)		公社債 組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首) 2023年11月22日	円	%		%	%
11月末	17,398	—	201.45	—	95.1
12月末	17,330	△ 0.4	201.75	0.2	94.6
2024年1月末	17,387	△ 0.1	201.40	△ 0.0	95.5
2月末	17,794	2.3	206.36	2.4	97.3
3月末	18,355	5.5	213.41	5.9	92.8
4月末	19,038	9.4	221.85	10.1	89.0
(期末) 2024年5月22日	18,762	7.8	218.47	8.5	87.2
	19,490	12.0	226.74	12.6	90.1

※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2023年11月23日から2024年5月22日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	17,398円
期末	19,490円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	+12.0% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、FTSEメキシコ国債インデックス(円換算ベース)です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2023年11月23日から2024年5月22日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、メキシコペソ建てのメキシコの国債を中心に投資を行いました。

上昇要因

- メキシコペソの対円での上昇によってキャピタルゲインを得たこと
- 実質的に保有しているメキシコ債券からインカムゲインを得たこと

投資環境について（2023年11月23日から2024年5月22日まで）

運用期間におけるメキシコ債券市場は、金利上昇（債券価格は下落）したものの、クーポン収入などによって上昇しました。メキシコペソ円相場は上昇しました。

債券市場

期前半は、米国においてFRB（米連邦準備制度理事会）の利下げへの転換が意識され、米金利低下に連動してメキシコ金利も低下する場面が見られました。しかし、期後半は、米国において想定を上回る経済指標が確認される中、FRBの利下げ観測の後退により米金利が上昇に転じ、メキシコ金利も上昇に転じました。

3月にはメキシコ銀行（中央銀行）は利下げに踏み切りましたが、インフレに対する警戒姿勢は維持されたことや、タイミングや幅も市場の想定通りであったことから、メキシコ金利への影響は限定されました。

為替市場

メキシコ銀行は3月に利下げを実施したものの、インフレに対する警戒姿勢が維持され、今後も極めて緩やかなペースでしか利下げを実施しない姿勢を示したことがメキシコペソのサポート要因となりました。また、日本銀行がマイナス金利の解除などの金融政策の正常化を進めながらも金融緩和的な姿勢を維持し、日本とメキシコの金利差が意識されたため、メキシコペソは対円で上昇しました。

ポートフォリオについて（2023年11月23日から2024年5月22日まで）

当ファンド

主要投資対象である「メキシコ債券マザーファンド」を、運用期間を通じて高位に組み入れました。

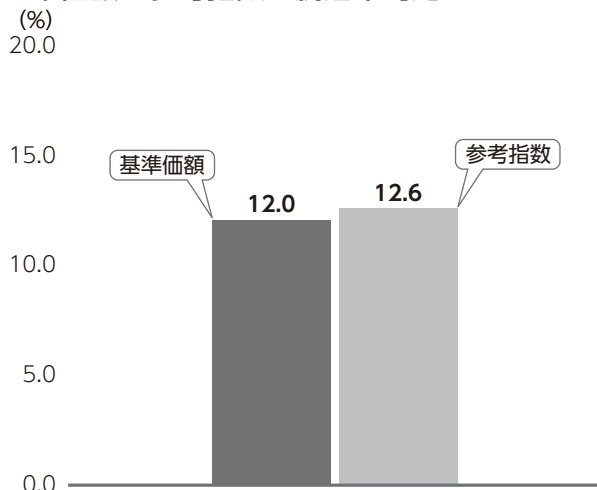
メキシコ債券マザーファンド

流動性が高いメキシコ国債の組入れを高位とし、市場動向に応じてデュレーション*を機動的に調整しました。

*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

ベンチマークとの差異について（2023年11月23日から2024年5月22日まで）

基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてF T S Eメキシコ国債インデックス(円換算ベース)を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について（2023年11月23日から2024年5月22日まで）

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第22期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	12,990

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りいたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

2 今後の運用方針

当ファンド

引き続き、運用の基本方針に従い、「メキシコ債券マザーファンド」への投資を通じて、メキシコペソ建てのメキシコの国債・政府機関債および国際機関債を中心に投資することにより、利息収益の確保と信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。

メキシコ債券マザーファンド

メキシコ銀行は3月に利下げを実施しましたが、インフレに対する警戒姿勢が維持され、今後も極めて緩やかなペースで利下げを実施する姿勢を示しています。また、隣国である米国の経済も堅調さを維持する

中、FRBも積極的に利下げを実施する見込みはないことから、メキシコ金利は一進一退の展開になると考えられます。

メキシコペソについては、メキシコ銀行のインフレ抑制スタンスは不変であり、メキシコペソの安定を支える重要な要素であり続けると考えています。また、日本銀行は金融政策の正常化を実施しているものの、緩和的な金融政策のかじ取りを継続する姿勢は維持しており、日本とメキシコの金利差が、メキシコペソ円の上昇圧力になりやすい環境が続くと想定しています。

こうした状況下、当マザーファンドについては、メキシコ金利の方向感などを勘案しながら、デュレーションや残存構成の機動的な調整を実施する方針です。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

メキシコ債券オープン（資産成長型）【愛称：アミーゴ】

1万口当たりの費用明細（2023年11月23日から2024年5月22日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	123円	0.676%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は18,231円です。
（投信会社）	(60)	(0.327)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(60)	(0.327)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.022)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(-)	(-)	
（先物・オプション）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(-)	(-)	
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(d) その他費用	2	0.009	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.007)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他:信託事務の処理等に要するその他費用
合計	125	0.685	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

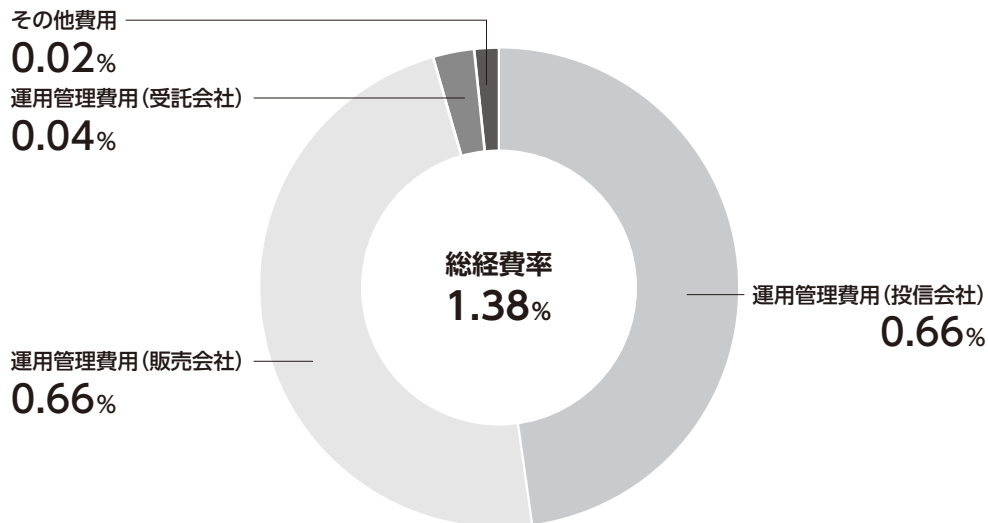
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.38%です。

メキシコ債券オープン（資産成長型）【愛称：アミーゴ】

■ 当期中の売買及び取引の状況（2023年11月23日から2024年5月22日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
メキシコ債券マザーファンド	千口 131,173	千円 418,137	千口 202,746	千円 630,337

■ 利害関係人との取引状況等（2023年11月23日から2024年5月22日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年11月23日から2024年5月22日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細（2024年5月22日現在）

親投資信託残高

種 類	期 首（前期末）		期 末	
	口 数	金 額	口 数	評 価 額
メキシコ債券マザーファンド	千口 1,285,657	千円 4,045,451	千口 1,214,084	千円 4,045,451

※メキシコ債券マザーファンドの期末の受益権総口数は7,711,741,272口です。

■ 投資信託財産の構成

(2024年5月22日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
メキシコ債券マザーファンド	千円 4,045,451	% 99.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	27,220	0.7
投 資 信 託 財 産 総 額	4,072,672	100.0

※メキシコ債券マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産（24,129,053千円）の投資信託財産総額（25,854,347千円）に対する比率は93.3%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1メキシコ・ペソ=9.405円です。

メキシコ債券オープン（資産成長型）【愛称：アミーゴ】

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年5月22日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	4,072,672,388円
コール・ローン等	1,465,110
メキシコ債券マザーファンド(評価額)	4,045,451,482
未 収 入 金	25,755,796
(B) 負 債	26,458,551
未 払 解 約 金	714,339
未 払 信 託 報 酬	25,651,214
そ の 他 未 払 費 用	92,998
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	4,046,213,837
元 本	2,076,027,676
次 期 繰 越 損 益 金	1,970,186,161
(D) 受 益 権 総 口 数	2,076,027,676口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	19,490円

※当期における期首元本額2,185,585,834円、期中追加設定元本額300,148,232円、期中一部解約元本額409,706,390円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前)	当 期
	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 損益の状況

(自2023年11月23日 至2024年5月22日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	384円
受 取 利 息	504
支 払 利 息	△ 120
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	425,741,917
売 買 益	457,752,819
売 買 損	△ 32,010,902
(C) 信 託 報 酬 等	△ 25,744,213
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	399,998,088
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,102,977,355
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	467,210,718
(配 当 等 相 当 額)	(1,191,571,919)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 724,361,201)
(G) 合 計 (D + E + F)	1,970,186,161
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	1,970,186,161
追 加 信 託 差 損 益 金	467,210,718
(配 当 等 相 当 額)	(1,193,921,720)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 726,711,002)
分 配 準 備 積 立 金	1,502,975,443

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	140,163,244円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	259,834,844
(c) 収益調整金	1,193,921,720
(d) 分配準備積立金	1,102,977,355
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,696,897,163
1 万 口 当 た り 当 期 分 配 対 象 額	12,990.66
(f) 分配金	0
1 万 口 当 た り 分 配 金	0

メキシコ債券マザーファンド

第12期（2023年5月23日から2024年5月22日まで）

信託期間	無期限（設定日：2012年6月1日）
運用方針	■主にメキシコの債券に投資することにより、利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。 ■組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) FTSEメキシコ国債 インデックス (円換算ベース)		公社債 組入比率	純資産 総額
	期騰	期中落率	期騰	期中落率		
8期 (2020年5月22日)	円	%			%	百万円
	14,611	△ 4.1	147.57	△ 3.6	93.4	35,803
9期 (2021年5月24日)	17,354	18.8	175.94	19.2	95.4	28,955
10期 (2022年5月23日)	19,858	14.4	202.71	15.2	96.4	23,773
11期 (2023年5月22日)	25,995	30.9	262.62	29.6	94.7	24,344
12期 (2024年5月22日)	33,321	28.2	336.61	28.2	90.1	25,695

※参考指数は、当報告書作成時に知りえた情報をもとに当社が独自に計算し、設定時を100として、指数化しています。なお、基準価額の反映を考慮した日付の値を使用しています。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

※参考指数は市場の動きを示す目的で記載しており、当ファンドが当該参考指数を意識して運用しているわけではありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参考指数) FTSEメキシコ国債 インデックス (円換算ベース)		公 社 債 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首) 2023年 5月22日	円 25,995	% —	262.62	% —	% 94.7
5月末	26,506	2.0	268.77	2.3	94.1
6月末	28,966	11.4	291.88	11.1	94.3
7月末	28,759	10.6	291.54	11.0	88.8
8月末	29,400	13.1	297.45	13.3	91.8
9月末	28,006	7.7	285.16	8.6	93.3
10月末	27,361	5.3	276.69	5.4	93.5
11月末	29,462	13.3	299.51	14.0	94.6
12月末	29,590	13.8	298.99	13.8	95.4
2024年 1月末	30,314	16.6	306.35	16.7	96.3
2月末	31,300	20.4	316.82	20.6	92.4
3月末	32,493	25.0	329.35	25.4	88.6
4月末	32,060	23.3	324.34	23.5	86.7
(期 末) 2024年 5月22日	33,321	28.2	336.61	28.2	90.1

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2023年5月23日から2024年5月22日まで）

基準価額等の推移



期首	25,995円
期末	33,321円
騰落率	+28.2%

※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

※当ファンドの参考指数は、FTSEメキシコ国債インデックス（円換算ベース）です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

▶ 基準価額の主な変動要因（2023年5月23日から2024年5月22日まで）

当ファンドは、メキシコペソ建てのメキシコの国債を中心に投資を行いました。

上昇要因

- ・メキシコペソの対円での上昇によってキャピタルゲインを得たこと
- ・保有しているメキシコ債券からインカムゲインを得たこと

▶ 投資環境について（2023年5月23日から2024年5月22日まで）

運用期間におけるメキシコ債券市場は、短期セクターを中心に金利上昇（債券価格は下落）したものの、クーポン収入などによって上昇しました。メキシコペソ円相場は大幅に上昇しました。

債券市場

F R B（米連邦準備制度理事会）の利下げへの転換が意識されながらも、米国の堅調な経済指標やインフレの高止まりが確認される中、米金利には上昇圧力が根強く残り、メキシコ金利も上昇しました。

3月にはメキシコ銀行（中央銀行）は利下げに踏み切りましたが、インフレに対する警戒姿勢は維持されたことや、タイミングや幅も市場の想定通りであったことから、メキシコ金利への影響は限定されました。

為替市場

期間を通じて、日本とメキシコの金利差がメキシコペソの対円での上昇要因となりました。メキシコ銀行は3月に利下げを実施したものの、インフレに対する警戒姿勢が維持され、今後も極めて緩やかなペースでしか利下げを実施しない姿勢を示したことがメキシコペソのサポート要因となりました。また、日本銀行はマイナス金利の解除などの金融政策の正常化を進めながらも、金融緩和的な姿勢を維持したことが円安要因となりました。

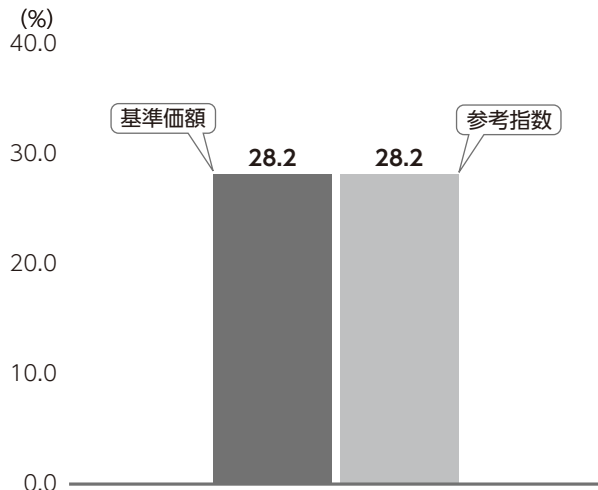
▶ ポートフォリオについて（2023年5月23日から2024年5月22日まで）

流動性が高いメキシコ国債の組み入れを高位とし、市場動向に応じてデュレーション*を機動的に調整しました。

*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

▶ ベンチマークとの差異について (2023年5月23日から2024年5月22日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてF T S Eメキシコ国債インデックス (円換算ベース) を設けています。

記載のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

2 今後の運用方針

メキシコ銀行は3月に利下げを実施しましたが、インフレに対する警戒姿勢が維持され、今後も極めて緩やかなペースで利下げを実施する姿勢を示しています。また、隣国である米国の経済も堅調さを維持する中、F R Bも積極的に利下げを実施する見込みはないことから、メキシコ金利は一進一退の展開になると考えられます。

メキシコペソについては、メキシコ銀行のインフレ抑制スタンスは不変であり、メキシコペソの安定を支える重要な要素であり続けると考えています。また、日本銀行は金融政策の正常化を実施しているものの、緩和的な金融政策のかじ取りを継続する姿勢は維持しており、日本とメキシコの金利差が、メキシコペソ円の上昇圧力になりやすい環境が続くと想定しています。

こうした状況下、当マザーファンドについては、メキシコ金利の方向感などを勘案しながら、デュレーションや残存構成の機動的な調整を実施する方針です。

メキシコ債券マザーファンド

■ 1万口当たりの費用明細 (2023年5月23日から2024年5月22日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (保管費用)	4円 (4)	0.013% (0.013)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	4	0.013	

期中の平均基準価額は29,592円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2023年5月23日から2024年5月22日まで)

公社債

			買付額	売付額
外国	メキシコ	国債証券	千メキシコ・ペソ 3,781,763	千メキシコ・ペソ 4,213,349

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年5月23日から2024年5月22日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年5月23日から2024年5月22日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

メキシコ債券マザーファンド

■ 組入れ資産の明細 (2024年5月22日現在)

公社債

A 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	期				末			
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	うちBBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
メ キ シ コ	千メキシコ・ペソ 2,769,500	千メキシコ・ペソ 2,462,432	千円 23,159,178	% 90.1	% —	% 72.8	% 17.3	% —
合 計	—	—	23,159,178	90.1	—	72.8	17.3	—

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

B 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債

区 分	銘 柄	種 類	期				末	
			利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日	
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
メ キ シ コ	MEX BONOS DE DESARROLLO	国債証券	7.5000	千メキシコ・ペソ 450,000	千メキシコ・ペソ 420,363	千円 3,953,514	2027/06/03	
	MEX BONOS DESARR FIX RT	国債証券	10.0000	70,000	71,644	673,814	2036/11/20	
	MEX BONOS DESARR FIX RT	国債証券	8.5000	220,000	208,986	1,965,520	2029/05/31	
	MEX BONOS DESARR FIX RT	国債証券	8.5000	196,500	177,659	1,670,888	2038/11/18	
	MEX BONOS DESARR FIX RT	国債証券	7.7500	330,000	297,207	2,795,240	2031/05/29	
	MEX BONOS DESARR FIX RT	国債証券	7.7500	468,000	386,156	3,631,798	2042/11/13	
	MEX BONOS DESARR FIX RT	国債証券	7.7500	100,000	87,377	821,780	2034/11/23	
	MEX BONOS DESARR FIX RT	国債証券	5.5000	60,000	53,511	503,276	2027/03/04	
	MEX BONOS DESARR FIX RT	国債証券	7.5000	875,000	759,526	7,143,344	2033/05/26	
	小 計				2,769,500	2,462,432	23,159,178	—
合 計				—	—	23,159,178	—	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

メキシコ債券マザーファンド

■ 投資信託財産の構成

(2024年5月22日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 23,159,178	% 89.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,695,168	10.4
投 資 信 託 財 産 総 額	25,854,347	100.0

※期末における外貨建資産（24,129,053千円）の投資信託財産総額（25,854,347千円）に対する比率は93.3%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1メキシコ・ペソ=9.405円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年5月22日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	29,379,054,408円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,681,032,607
公 社 債(評価額)	23,159,178,509
未 収 入 金	3,621,300,414
未 収 利 息	806,313,078
前 払 費 用	111,229,800
(B) 負 債	3,683,070,332
未 払 金	3,542,312,400
未 払 解 約 金	140,757,932
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	25,695,984,076
元 本	7,711,741,272
次 期 繰 越 損 益 金	17,984,242,804
(D) 受 益 権 総 口 数	7,711,741,272口
1 万 口 当 ち り 基 準 価 額 (C / D)	33,321円

※当期における期首元本額9,365,045,775円、期中追加設定元本額595,224,132円、期中一部解約元本額2,248,528,635円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

メキシコ債券オープン（毎月分配型）	6,497,656,616円
メキシコ債券オープン（資産成長型）	1,214,084,656円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2023年5月23日 至2024年5月22日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,133,610,284円
受 取 利 息	2,133,801,431
そ の 他 収 益 金	148,140
支 払 利 息	△ 339,287
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	4,064,870,579
売 買 益	5,177,464,530
売 買 損	△ 1,112,593,951
(C) そ の 他 費 用 等	△ 3,255,035
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	6,195,255,828
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	14,979,554,882
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 4,377,363,659
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,186,795,753
(H) 合 計 (D + E + F + G)	17,984,242,804
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	17,984,242,804

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。